

感染症対策研修

第2部 災害時の地域BCPを考える

特定非営利活動法人
Hand Over Japan
佐藤 純



1

災害時の地域BCPを考える 第2部

研修メニュー

01. 災害発生時の地域BCP
02. 災害時における衛生管理～トイレ・ゴミ・食事～
03. 配慮が必要な方の避難生活の備え



2

01.災害発生時の地域BCP



3

01.災害発生時の地域BCP

地域BCP

地域を面と捉え、その医療やケアの継続について考える地域 BCP の策定を目指していく。地域BCPとは、地域全体の医療・ケア提供の継続と早期復旧を可能とすること、そして各機関のスタッフ・患者・利用者のみならず、多くの住民の“いのち”と“健康”と“暮らし”を守ることを目的とする、保健医療福祉の多職種・多機関によるBCPである。

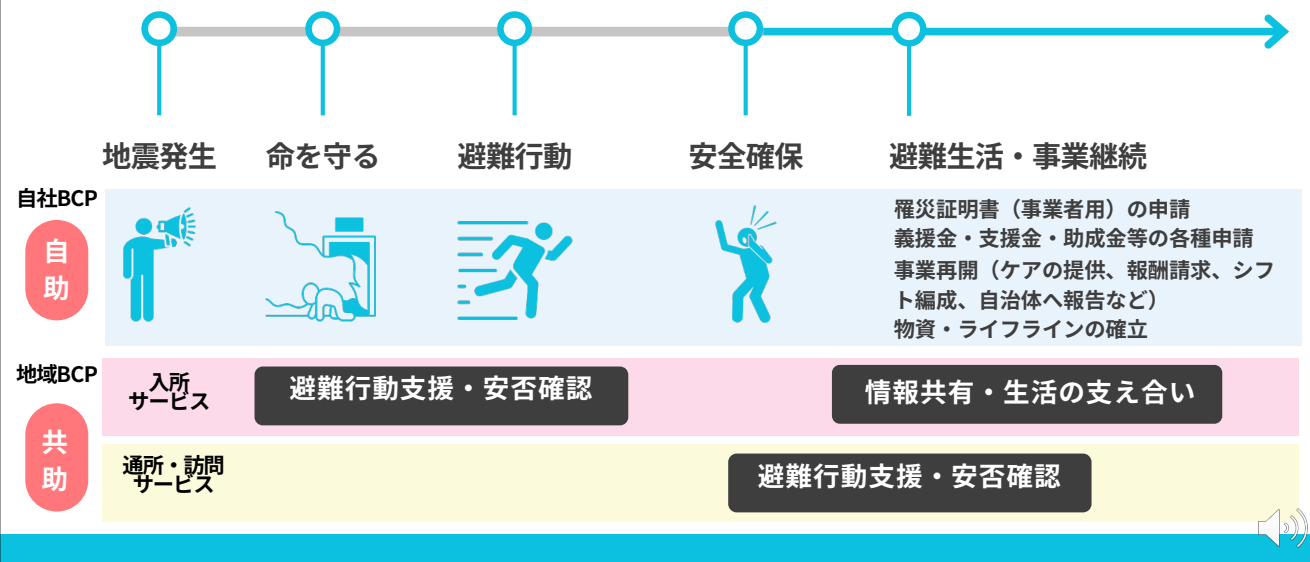
山岸暁美,わが地域全体の医療やケアの継続を考える「地域BCP」の必要性,2022



4

01.災害発生時の地域BCP

目的：いのち・健康・生活を守る→衛生管理がポイント



5

02.災害時における衛生管理 ～トイレ・ゴミ・食事～

6

02.災害時における衛生管理

災害時のトイレ



令和6年能登半島地震避難所
撮影：佐藤純



7

02.災害時における衛生管理

トイレ事情

👉 仮設トイレやマンホールトイレ

トイレのゴミ（し尿やおむつ等）

災害時は排泄物の処理を自分で行う必要がある

自宅以外のトイレ

避難所や公共施設に仮設トイレが設置される

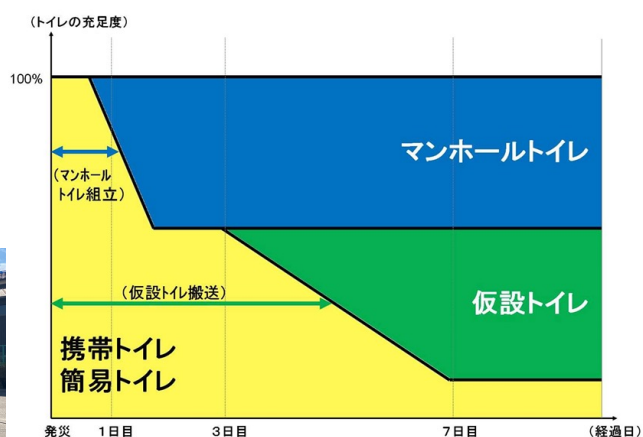


図 2-3 トイレの充足度のイメージ図

引用：国土交通省マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン（2021年版）



8

02.災害時における衛生管理

行きたくなるトイレ



トイレの備え

被災後のトイレ

在宅避難では、今あるトイレを活用
臭い対策の備えも考える

備蓄トイレの必要数

家族の人数×1日のトイレの回数×最低7日間

(例) 2人×6回×7日間＝84回

3人×6回×7日間＝126回

4人×6回×7日間＝168回



写真：佐藤純撮影

ゴミ捨ても考えておきましょう！



9

02.災害時における衛生管理

災害時のゴミ



令和6年能登半島地震避難所
撮影：佐藤純



10

02.災害時における衛生管理

災害ごみ

通常のゴミとの違い

災害廃棄物ごみとは

地震等の災害によって発生する廃棄物（災害がれき）及び被災者や避難者の生活等に伴い発生する廃棄物（生活系ごみ及びし尿）

災害廃棄物も分別が必要

分別を理解し、回収場所や時間の指定があるため情報を確認して廃棄する。

表 1-2 対象とする廃棄物

廃棄物の種類	概要
一般廃棄物	災害廃棄物 ○ 被災した住民の片付け等により排出される生活ごみ（通常生活で排出される生活ごみは除く。） ○ 避難施設で排出される生活ごみ（避難所ごみ） ○ 損壊家屋の解体・撤去で発生する廃棄物 ○ 道路啓開や救助捜索活動に伴い生じる廃棄物 ○ 被災者用に設置した仮設トイレからのし尿 ○ 被災した住民から排出される使用済み簡易トイレ等のし尿 ○ 被災した事業場からの廃棄物（事業活動に伴う廃棄物は除く。） ○ その他、災害に起因する廃棄物 家庭ごみ ○ 通常生活で排出される生活ごみ 事業系一般廃棄物 ○ 事業活動に伴う廃棄物（産業廃棄物を除く。）
産業廃棄物	○ 廃棄物処理法第2条第4項に定める事業活動に伴って生じる廃棄物

出典「東京都災害廃棄物処理計画」（平成29年6月）を編集

11



02.災害時における衛生管理

非常食を考える

日頃食べ慣れた物を準備する。食べ慣れておく。

ローリングストック

普段使う食品を多めに買い置きし、古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品を備蓄しておく方法



ポイント！

アレルギー・食形態を考慮できる
嗜好に合わせた商品を選ぶ
・お酒・お菓子・好物
調理の手段も忘れずに備える
最低3日分は備える



12

02.災害時における衛生管理

水が出ない生活

給水バックや水の備え

必要な水の量

飲料水：1日3L/1人

生活用水：10~20L/1人



写真：佐藤純撮影



給水ポイントまで水をもらいに行くことができるか？



13

03.配慮が必要な方の避難生活の備え



14

03.配慮が必要な方の避難生活の備え



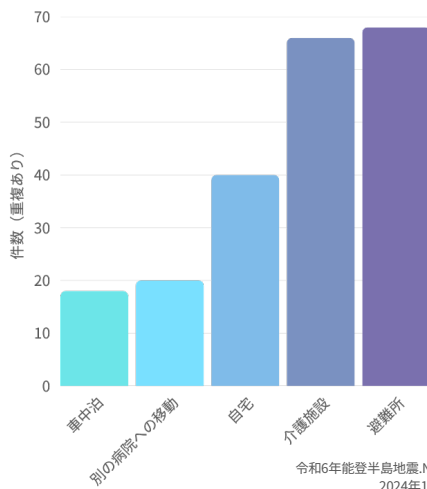
15

03.配慮が必要な方の避難生活の備え

再掲

災害関連死

災害による直接的な被害ではなく、避難生活などによって体調を崩し、病気の発症や持病の悪化などで亡くなること



予防のポイント

- TKB（トイレ・食事・寝床）の整備**
トイレ環境の整備、栄養バランスの取れた食事
簡易ベット
- 異常の早期発見**
医療へ迅速に繋ぐ
- 生活不活発発病の予防**
レク、リハビリ、人との交流
- 訓練、サロン活動、地域活動再開**
地域を超えた連携
なるべく早く**日常**を取り戻す

16

03.配慮が必要な方の避難生活の備え

TKB（トイレ・食事・寝床）の整備

トイレ環境の整備、栄養バランスの取れた食事、簡易ベット



おむつや尿取りパット



栄養バランスの取れた食事



写真：佐藤純撮影



17

03.配慮が必要な方の避難生活の備え

TKB（トイレ・食事・寝床）の整備

トイレ環境の整備、栄養バランスの取れた食事、簡易ベット



段ボールベッドの活用



仮設住宅への入居を進める



写真：佐藤純撮影



18

03.配慮が必要な方の避難生活の備え

異常の早期発見（呼吸器感染症、感染性胃腸炎）



片付けする時には必ずマスク着用
呼吸器感染症（肺炎等）



写真：佐藤純撮影

嘔吐や下痢は適切に処理を行う



19

03.配慮が必要な方の避難生活の備え

避難生活における感染対策



手洗いでできる環境づくり



体調不良者専用スペース

写真：佐藤純撮影



20

まとめ

いのちと健康と暮らしを守るのに必要なコト

1

災害発生時の地域BCP

- ・ 命と健康と暮らしを守ることを目的としている。
- ・ 暮らしの中で衛生管理は命に関わる。
- ・ 発災72時間以降の避難生活に焦点を当てて考える。

2

災害時における衛生管理 ～トイレ・ゴミ・食事～

- ・ 災害時のトイレは様々。自身の備えが絶対必要。
- ・ 災害時のゴミ出しは、日常と変化する。出し方に注意。
- ・ 食事や水はローリングストックで備蓄。

3

配慮が必要な方の避難生活の備え

- ・ 災害関連死ゼロを目指してTKBの整備を先決にする。
- ・ 異常の早期発見と予防を考える。
- ・ 避難生活の中で感染対策できることを実践。
- ・ 支援者の立場となった時も感染対策の視点を忘れずに。

